

InfoSOSA™シリーズ

# サンプルプロジェクトの使い方

# はじめに

---

本ドキュメントは、InfoSOSA サンプルプロジェクトの使い方を記載しています。

サンプルプロジェクトは InfoSOSA 専用作画ソフト「InfoSOSA ビルダ」で読み込み、動作確認を行うことができます。InfoSOSA ビルダは InfoSOSA 開発サンプルキットに付属の CD-ROM に同梱されております。

[サンプルプロジェクトを動作させるまでの流れ]

1. InfoSOSA ビルダをインストールする  
→詳しくは [1 章 InfoSOSA ビルダのインストール](#) を参照下さい。
2. InfoSOSA ビルダを起動する  
→詳しくは [2.1 InfoSOSA ビルダの起動](#) を参照下さい。
3. サンプルプロジェクトを開く  
→詳しくは [2.2 既存のプロジェクトを開く](#) を参照下さい。
4. InfoSOSA 本体へダウンロード、もしくはシミュレータを起動  
→詳しくは [3 章ダウンロード](#)、もしくは [4 章シミュレーション](#) を参照下さい。

■本書の著作権は、株式会社シーズウェアが所有しています。

■本製品および本書内容の一部、または全てを無断で掲載することは禁止されています。

■本製品および本書の内容は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承下さい。

■本書の内容は万全を期しておりますが、万一誤りや記載漏れ等お気づきの点がございましたら当社までご連絡下さい。

■本製品を使用したことによるお客様の損害やその他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても当社はその責任を負いません。あらかじめご了承下さい。

■Microsoft®、Windows®、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8、Microsoft® .NET Framework は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

■その他の会社および製品名は、各社の商標または登録商標です。

# 関連ドキュメント

---

本マニュアルに記載されていない内容に関しては、以下の関連ドキュメントを参照してください。

## 導入ガイド

初めて InfoSOSA に触れる方のためのマニュアルです。  
作画から動作確認までの流れについて記載しています。

## リファレンスマニュアル

InfoSOSA で使用する部品や機能の詳細、プロパティ、パラメータの詳細などについて記載しています。

## InfoSOSA ビルダ操作マニュアル

InfoSOSA ビルダの操作方法について記載しています。

## 上位通信テスト取扱説明書

上位通信テストの操作方法について記載しています。

※ 上位通信テストは、マイコン機器の代わりに PC で InfoSOSA との通信を確認するためのソフトウェアです。

# 目次

---

はじめに.....	i
関連ドキュメント.....	ii
目次.....	iii
1章 InfoSOSA ビルダのインストール.....	4
1.1 InfoSOSA ビルダ動作環境.....	5
1.1.1 動作環境.....	5
1.2 InfoSOSA ビルダのインストール.....	6
1.2.1 インストール手順.....	6
2章 起動.....	10
2.1 InfoSOSA ビルダの起動.....	11
2.1.1 デスクトップ上からの起動方法.....	11
2.1.2 スタートメニューからの起動方法.....	11
2.2 既存のプロジェクトを開く.....	12
3章 ダウンロード.....	14
3.1 ダウンロードとは.....	15
3.2 シリアル/LANダウンロード.....	16
3.2.1 通信設定.....	16
3.2.2 シリアル/LANでのダウンロード.....	17
3.3 SDカードダウンロード.....	19
3.3.1 データ作成.....	19
3.3.2 SDメモ리카ードでのダウンロード.....	21
4章 シミュレーション.....	24
4.1 シミュレータ.....	25
4.1.1 シミュレータ画面.....	25
4.1.2 シミュレータの起動.....	26
4.2 シミュレータの操作方法.....	27
4.2.1 表示.....	27
4.2.2 タッチパネル操作.....	27
4.2.3 ログ表示.....	28
4.2.4 シートキーSW.....	29
4.2.5 シートキーLED.....	30
4.2.6 SRAMクリア.....	30
4.2.7 再起動.....	31
4.2.8 シミュレータの終了.....	31
4.3 シミュレータの設定.....	32
4.3.1 設定方法.....	32

# 1 章 InfoSOSA ビルダのインストール

## 章目次

---

1.1	InfoSOSA ビルダ動作環境.....	5
1.2	InfoSOSA ビルダのインストール.....	6

---

## 1.1 InfoSOSAビルダ動作環境

### 1.1.1 動作環境

項目	内容
OS	Microsoft® Windows® XP 日本語版 (32Bit 版) SP3 以降 Microsoft® Windows Vista® 日本語版 (32Bit 版) Microsoft® Windows® 7 日本語版 (32Bit 版 / 64bit 版)
フレームワーク	Microsoft® .NET Framework 4
プロセッサ(相当)	1GHz 以上
メモリ	512MB 以上 (推奨 : Windows XP 1GB 以上、Windows Vista, Windows 7 2GB 以上)
ハードディスク	850MB 以上の空き (推奨 : 1GB 以上)
ディスプレイ	1024×768 ドット以上 True Color (32bit) を推奨
CD-ROM ドライブ	インストール時に必要
シリアルポート*	ダウンロード転送時に使用
イーサネットポート	ダウンロード転送時に使用

※ ご使用になる PC のシリアル(COM)ポートの出力信号レベルによって、通信エラーが発生することがあります。その場合は USB-シリアル変換ケーブルをご使用ください。

※ Windows 7 で使用される場合、画面の文字サイズは「小 - 100%」でご使用下さい。

画面の文字サイズは、[スタート] - [コントロールパネル] - [ディスプレイ] で設定可能です。

※ 仮想環境下での動作は、動作保証外とさせていただきます。

## 1.2 InfoSOSAビルダのインストール



注意

インストールを行う PC のハードディスクに十分な空き容量(850MB 以上)があることを確認してインストールを行ってください。



注意

インストールは Administrator (管理者) 権限で行ってください。

### 1.2.1 インストール手順

#### インストールの開始

1. サンプルキットディスクを PC に挿入すると自動でガイドが起動します。ガイドが起動したら [インストールする] をクリックします。



- ※ ガイドが自動起動しない場合は、サンプルキットディスク内の「index.html」を Web ブラウザで開いて下さい。

2. クリックすると、次のようなダイアログが表示されます。  
[実行] ボタンをクリックしてインストールを行います。



- ※ お使いの PC 環境によっては、上記ダイアログで [実行] ボタンをクリックした後に、次のようなダイアログが表示されることがあります。  
表示された場合は [実行] ボタンをクリックしてインストールを行います。



- インストーラが起動しない場合は、サンプルキットディスク内の「ソフトウェア」フォルダにある「ビルダ」フォルダをローカルハードドライブにコピーし、「setup.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動して下さい。

## .NET Framework のインストール

1. お使いの PC に .NET Framework がインストールされていない場合、次のようなダイアログが表示されます。

[同意する] ボタンをクリックしてインストールを開始してください。



- ※ .NET Framework が既にインストールされている場合は「InfoSOSA Builder のインストール」から開始されます。
- ※ .NET Framework のインストールには「Windows インストーラ 3.1 以降」および「Internet Explorer 5.01 以降」が必要になります。
- ※ .NET Framework のインストールはインターネットよりインストーラをダウンロードして実行されます。InfoSOSA ビルダをインストールしようとする PC が、インターネットに接続されていない場合は [同意しない] ボタンをクリックしてインストールを中止した後、.NET Framework を別途インストールし、再度インストールの実行して下さい。
- ※ .NET Framework 4 のインストーラは、サンプルキットディスク内の「ソフトウェア ¥Microsoft .NET Framework ¥Microsoft .NET Framework 4」フォルダに収録しています。  
「dotNetFx40\_Full\_x86\_x64.exe」 「dotNetFx40LP\_Full\_x86ja.exe」の順番にインストールして下さい。
- ※ ご使用の環境によっては、.NET Framework 4 では InfoSOSA ビルダが動作しない場合があります。その場合は以下を参考に .NET Framework 3.5 のインストールを行って下さい。

### Windows XP の場合

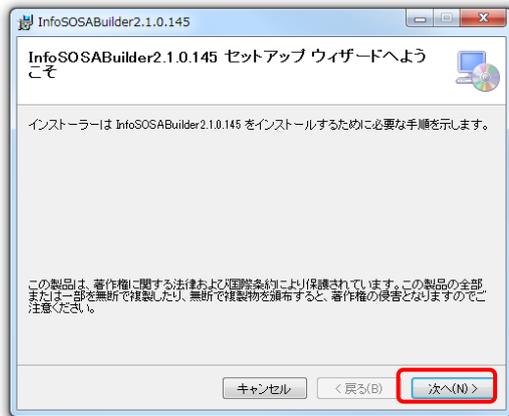
.NET Framework 3.5 のインストーラは、サンプルキットディスク内の「ソフトウェア ¥Microsoft .NET Framework ¥Microsoft .NET Framework 3.5」フォルダに収録しています。  
「dotnetfx35.exe」 「dotnetfx35langpack\_x86ja.exe」の順番にインストールして下さい。

### Windows Vista / Windows 7 の場合

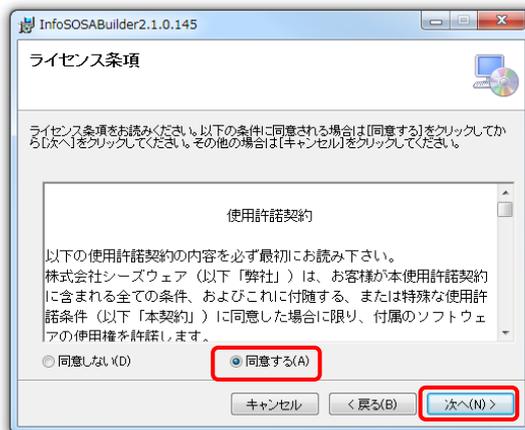
コントロールパネルから [プログラムと機能] - [Windows の機能の有効化または無効化] をクリックし、[Microsoft .NET Framework \*.\*] チェック・ボックスにチェックを入れて下さい。

## InfoSOSA Builder のインストール

1. インストールを開始すると以下のようなダイアログが表示されます。  
[次へ] ボタンをクリックします。



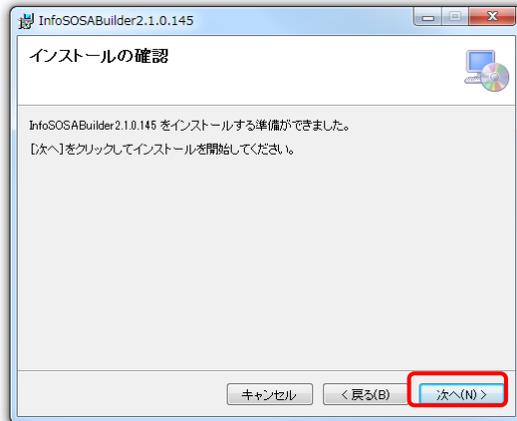
2. [同意する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



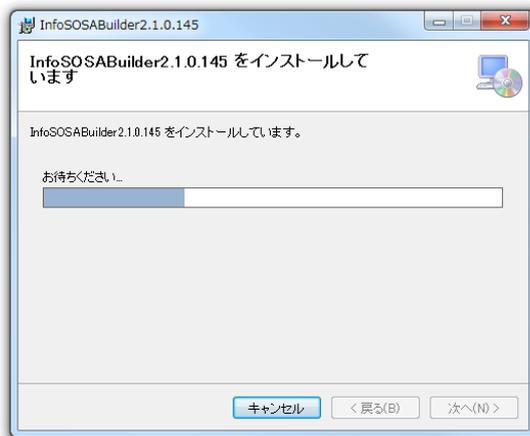
3. 保存先の指定、ユーザの選択を行い [次へ] ボタンをクリックします。



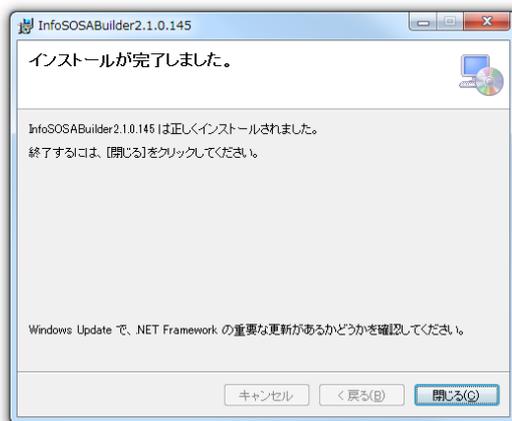
## 4. [次へ] ボタンをクリックします。



## 5. インストールが開始されます。



## 6. インストール完了です。



インストール後、 アイコンがデスクトップに表示されます。アイコンをダブルクリックし、InfoSOSA ビルダを起動してください。

※ 説明画面に表示されるバージョン番号は「2.1.0.145」を例に説明しています。

# 2章 起動

## 章目次

---

2.1	InfoSOSA ビルダの起動.....	11
2.2	既存のプロジェクトを開く .....	12

---

## 2.1 InfoSOSAビルダの起動

---

### 2.1.1 デスクトップ上からの起動方法



デスクトップ上にある  アイコンをダブルクリックすると InfoSOSA ビルダが起動します。

### 2.1.2 スタートメニューからの起動方法

スタートメニューから [すべてのプログラム] - [Seedsware] - [InfoSOSABuilder2.1.\*.\*] の順に選択します。

InfoSOSA ビルダが起動します。

※ \*には、バージョン番号が表示されます。

## 2.2 既存のプロジェクトを開く

既存のプロジェクトファイルを選択し開きます。

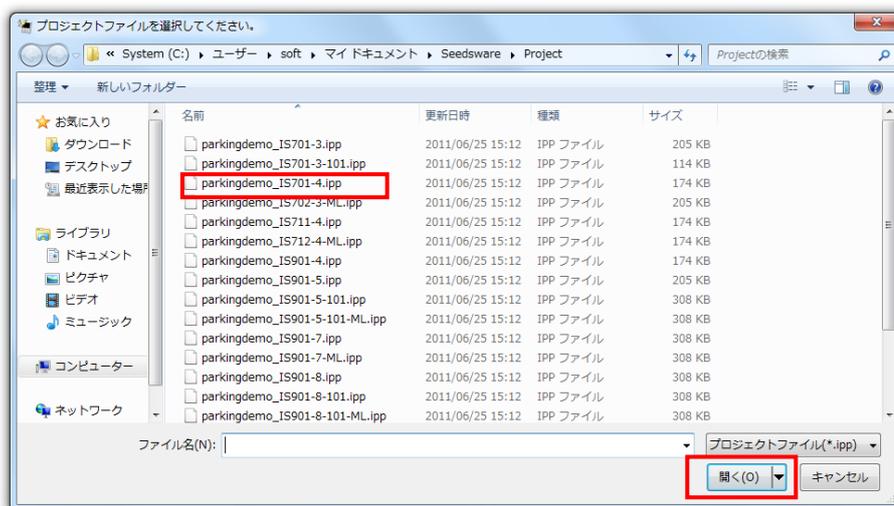
### 方法

1. メニューバーから [ファイル] - [開く] の順に選択します。



キーボードの「Ctrl」+「O」やツールバーの  でも行うことができます。

2. 表示するプロジェクト名を選択し、[開く] ボタンをクリックします。



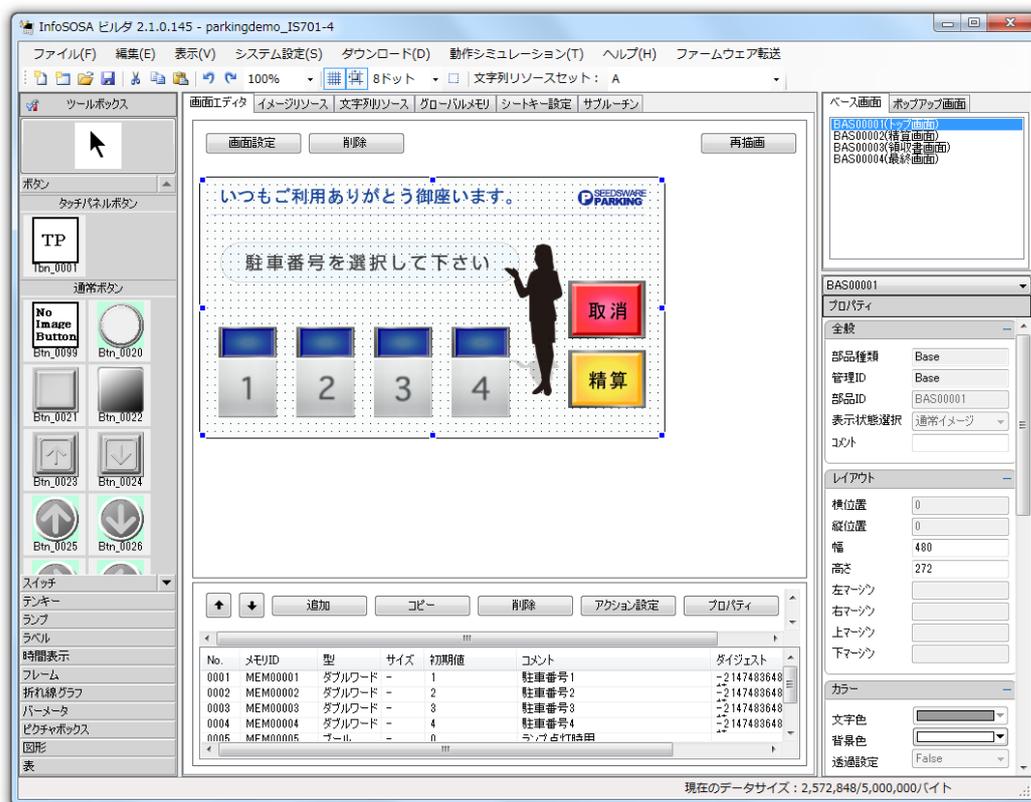
- ※ 前回使用した場所が表示されます。  
インストール直後はマイドキュメントの「Seedsware¥Project」フォルダになります。
- ※ InfoSOSA ビルダ Ver. 2.1 では、InfoSOSA ビルダ Ver. 1.7 以降のバージョンで作成したプロジェクトを開くことが可能です。  
但し、Ver2.1 に合わせて一部修正が必要な場合があります。
- ※ InfoSOSA ビルダ Ver. 2.1 で保存したプロジェクトは、旧バージョンの InfoSOSA ビルダでは、使用することができません。
- ※ 旧バージョンのプロジェクトを開いた場合、同じフォルダに以下のファイル名でバックアップが自動的に行われます。

**<プロジェクト名>.bak<旧バージョン番号>.ipp**

例えば、バージョン 2.0.4.139 で作成した test.ipp というプロジェクトを開いた場合、以下のファイル名で同じフォルダにバックアップされています。

**test.bak\_2.0.4.139.ipp**

## 3. 選択したプロジェクトが「画面エディタ」の作画エリアに表示されます。



# 3章      ダウンロード

## 章目次

---

3.1	ダウンロードとは.....	15
3.2	シリアル/LANダウンロード.....	16
3.3	SDカードダウンロード.....	19

---

## 3.1 ダウンロードとは

ダウンロードとは、ビルダで作成したプロジェクトを InfoSOSA に転送することを指します。

ダウンロードには、InfoSOSA 本体とシリアル(または LAN)ケーブルで PC と接続して行う方法と、あらかじめ PC で SD メモリカードにデータを作成し、その SD メモリカードと InfoSOSA 本体を接続して行う方法があります。

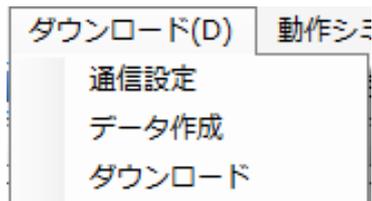
SD カードダウンロードは、あらかじめデータを作成しておけば、データ更新時に PC は不要になります。

ダウンロードはメニューバーの「ダウンロード」から行ないます。

シリアル(または LAN)ダウンロードは「通信設定」、「ダウンロード」を使用します。

SD カードダウンロードは「データ作成」を使用します。

- ※ LAN インタフェース非搭載の機種は LAN ケーブルでのダウンロードを行えません。
- ※ SD カードインタフェース非搭載の機種は SD メモリカードでのダウンロードを行えません。
- ※ タッチパネル非搭載の機種は SD メモリカードでのダウンロードを行えません。



## 3.2 シリアル/LANダウンロード

シリアル（または LAN）ケーブルを使用してダウンロードを行う場合は、InfoSOSA と PC を転送用のケーブルで接続する必要があります。

次の手順で行ないます。

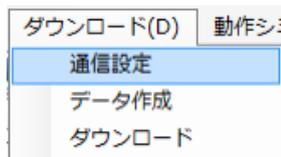
1. ビルダで PC の通信設定を行います。詳細は [3.2.1 通信設定](#) を参照下さい。
2. PC と InfoSOSA を転送用のケーブルで接続します。
3. InfoSOSA の電源を ON します。
4. ビルダからダウンロードを行います。詳細は [3.2.2 シリアル/LANでのダウンロード](#) を参照下さい。

### 3.2.1 通信設定

InfoSOSA へダウンロードを行う PC の通信設定を行ないます。

#### 通信設定方法

1. メニューバーから [ダウンロード] - [通信設定] の順に選択します。



2. 「通信設定（PC 側）ダイアログ」が表示されます。各項目を設定後 [選択] ボタンをクリックします。

No	項目	内容
①	ポート	ダウンロードを行う PC 側のポートを設定します。 「COM ポート」または「LAN」を選択します。 ※有効な「COM ポート」のみが表示されます。
②	通信速度	ポート設定が「COM ポート」の場合、通信速度を設定します。 InfoSOSA に設定されている「通信速度」を選択します。（「通信設定（ターゲット）ダイアログ」で設定された通信速度） ※初回ダウンロードの場合は、デフォルトの「115200」を指定して下さい。

No	項目	内容
③	パリティ	ポート設定が「COM ポート」の場合、通信設定をします。(パリティ) InfoSOSA に設定されている「パリティ」を選択します。(「通信設定(ターゲット) ダイアログ」で設定されたパリティ) ※初回ダウンロードの場合は、デフォルトの「なし」を指定して下さい。
④	相手先 IP アドレス	ポート設定が「LAN」の場合、InfoSOSA の IP アドレスを設定します。(「通信設定(ターゲット) ダイアログ」で設定された InfoSOSA の IP アドレス) ※初回ダウンロードの場合は、デフォルトの「192.168.0.130」を指定して下さい。

## 3.2.2 シリアル/LAN でのダウンロード

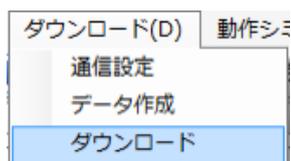
シリアル (または LAN) ケーブルを使用してダウンロードを行ないます。

ダウンロードを開始する前に、[3.2.1 通信設定](#)を行い InfoSOSA と PC を接続してください。

InfoSOSA の電源が ON になっていることを確認の上、下記の操作を行ってください。

### ダウンロード方法

1. メニューバーから [ダウンロード] - [ダウンロード] の順に選択します。



2. 「ダウンロードダイアログ」が表示されます。  
[ダウンロード] ボタンをクリックします。



No	項目	内容
①	通信設定	「通信設定ダイアログ」で行なった設定が表示されます。 [設定] ボタンをクリックすると「通信設定ダイアログ」が表示されます。こちらからでも通信設定を行うことができます。
②	ダウンロードデータ	ダウンロードを行うデータが表示されます。
③	ログ	ダウンロード状況と結果を表示します。

### 3. ダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、ログに「転送完了」というメッセージが表示されます。

ダウンロードが完了したら、[閉じる] ボタンをクリックしてダウンロードを終了します。



※ コンパイルがされていない場合は自動でコンパイルが実行されます。

※ ダウンロードが正常に完了しなかった、または正常に中止できなかった場合、次回起動時はダウンロードモードで起動します。

ダウンロードモードで起動した場合は、InfoSOSA 本体の通信設定はデフォルト値(通信速度：115200bps、パリティ：なし)になります。

PC 側の通信設定をデフォルト値に設定し、再度ダウンロードを行ってください。

## 3.3 SDカードダウンロード

SD メモリカードを使用してダウンロードを行う場合は、SD カード基板(オプション)を使用してSD メモリカードを接続する必要があります。

※ SD メモリカードの接続方法は、取扱説明書を参照下さい。

次の手順で行ないます。

1. ダウンロード用のデータを作成します。詳細は [3.3.1 データ作成](#) を参照下さい。
2. InfoSOSA とSD メモリカードを接続してダウンロードを行ないます。詳細は [3.3.2 SD メモリカードでのダウンロード](#) を参照下さい。

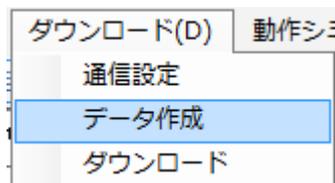
### 3.3.1 データ作成

ダウンロード用のデータを作成します。

PC にSD メモリカードを接続してから行なって下さい。

#### データ作成方法

1. メニューバーから [ダウンロード] - [データ作成] の順に選択します。

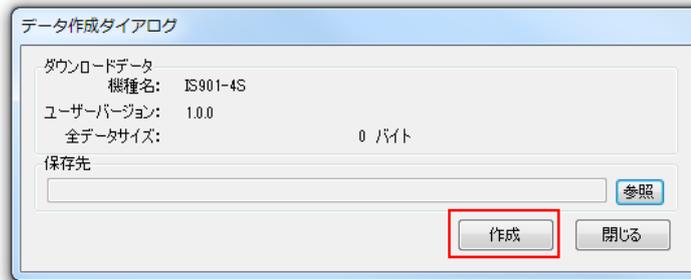


2. 「データ作成ダイアログ」が表示されます。  
[参照] ボタンをクリックします。

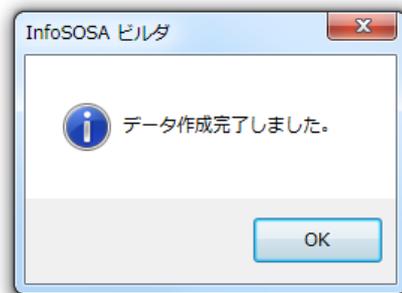


3. 保存場所を指定するウィンドウが開きます。  
データの保存先に SD メモリカードのドライブ（ルートフォルダ）を指定して下さい。

4. 「データ作成ダイアログ」の [作成] ボタンをクリックします。



5. 未保存の場合は、確認メッセージが表示されます。  
[はい]を選択して下さい。
6. SD メモリカードに以下のファイルが作成されます。



No	ファイル名	説明
①	[プロジェクト名].isp	SD カードダウンロード用のプロジェクトデータです。
②	isupdated.tgz	SD カードダウンロード用のアプリケーションファイルです。

※ ファイル名の変更は行わないで下さい。

**【注意】**

SD メモリカードのルートフォルダに、プロジェクトデータ（拡張子が isp のファイル）が複数あった場合はダウンロードを行うことができません。あらかじめ、移動もしくは削除を行ない 1 つのみにして下さい。

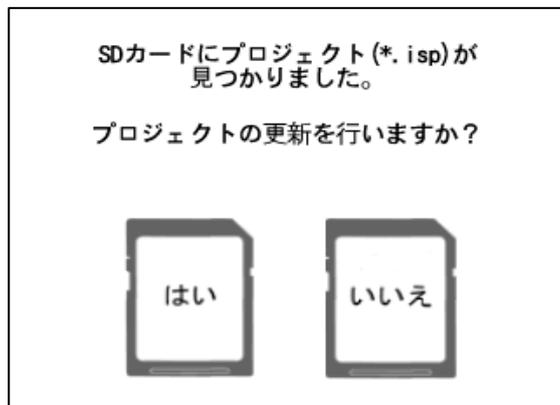
### 3.3.2 SD メモリカードでのダウンロード

SD メモリカードを使用してダウンロードを行ないます。

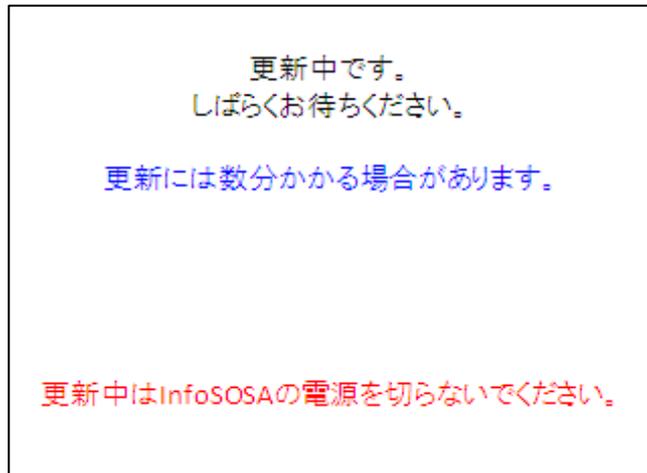
ダウンロードを開始する前に、[3.3.1 データ作成](#)を行なって下さい。

#### ダウンロード方法

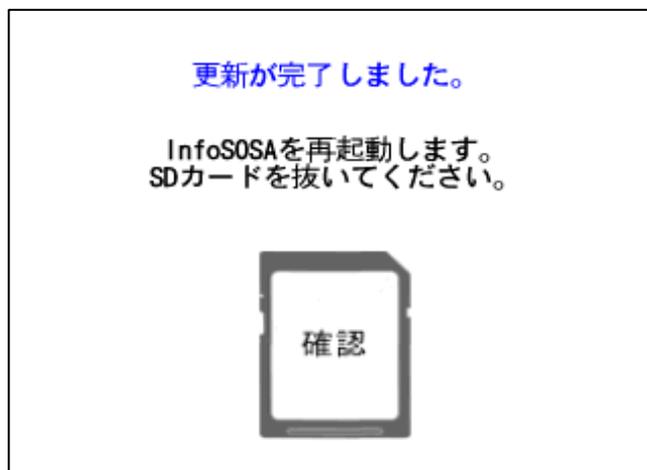
1. InfoSOSA の電源を OFF にします。
2. InfoSOSA に SD メモリカードを接続します。
3. InfoSOSA の電源を ON にします。
4. InfoSOSA に以下の画面が表示されます。  
[はい]をタッチして下さい。



- ダウンロードが始まり、以下の画面が表示されます。  
更新には数分かかる場合があります。  
更新中は、InfoSOSAの電源をOFFにしたり、SDメモ리카ードを抜いたりしないで下さい。



- ダウンロードが完了すると、以下の画面が表示されます。  
SDメモ리카ードを抜いて、[確認]をタッチして下さい。



- 再起動が行われ、更新後の画面が表示されます。

【注意】

手順6でSDメモ리카ードを抜いていない場合は、再度更新確認画面（手順4）が表示されます。その場合は、SDメモ리카ードを抜いて、[いいえ]をタッチして下さい。

※ 正常に完了しない場合は、以下をご確認下さい。

表示	原因	対処
<p>SDカードにプロジェクト(*.isp)が複数見つかりました。 SDカードにあるプロジェクトを1つにしてください。</p> 	SDメモ리카ードのルートフォルダにプロジェクトデータ（拡張子がispのファイル）が複数存在する	プロジェクトデータ（拡張子がispのファイル）をルートフォルダ以外に移動、もしくは削除して1つだけにして下さい
<p>SDカードにファイルが見つかりませんでした。</p> 	SDメモ리카ードのルートフォルダにプロジェクトデータ（拡張子がispのファイル）が存在しない	プロジェクトデータ（拡張子がispのファイル）をルートフォルダに移動して下さい。 ※検索はルートフォルダのみ行ないます。
更新画面が表示されずに、書き換え前のプロジェクトが表示される	SDメモ리카ードのルートフォルダにアプリケーションファイル(isupdated.tgz)が存在しない	再度データ作成を行ない、SDメモ리카ードのルートフォルダにアプリケーションファイル(isupdated.tgz)を配置して下さい
	SDメモ리카ードが正しく接続されていない	InfoSOSA 本体の取扱説明書を参考に正しく接続して下さい
<p>機種が異なるため、更新できませんでした。 プロジェクトの機種設定を再度ご確認ください。</p> 	プロジェクトの機種設定とInfoSOSA 本体の機種が異なる	プロジェクトの機種設定をInfoSOSA 本体型式と対応したものに設定し、再度データ作成を行なって下さい。  機種名の対応は、別紙ビルダ操作マニュアルをご確認下さい。
<p>更新に失敗しました。 ▼エラー原因一覧 ・未対応データ ・データ破損</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDメモ리카ードが壊れている</li> <li>データが破損している</li> <li>その他のエラー</li> </ul>	別のSDメモ리카ードに再度データ作成を行なって下さい。  改善されない場合は、お手数をお掛けしますが、お問い合わせをお願い致します。

# 4章 シミュレーション

## 章目次

---

4.1	シミュレータ .....	25
4.2	シミュレータの操作方法 .....	27
4.3	シミュレータの設定 .....	32

---

## 4.1 シミュレータ

InfoSOSAにダウンロードを行わずにPC上での動作シミュレーションを行うことができます。

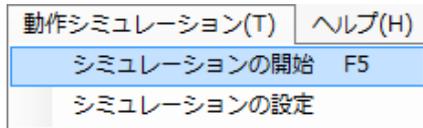
### 4.1.1 シミュレータ画面



No	項目	内容
①	IsSimulator ディスプレイ	作成したプロジェクトの画面が表示されます。 マウスのクリックでタッチ操作ができます
②	SIO1 ポートログ表示	SIO1 ポートの送受信ログ画面の表示の ON/OFF を行ないます。
③	SIO2 ポートログ表示	SIO2 ポートの送受信ログ画面の表示の ON/OFF を行ないます。
④	LAN ログ表示	LAN の送受信ログ画面の表示の ON/OFF を行ないます。
⑤	シートキー表示	シートキーSW 画面の ON/OFF を行ないます。
⑥	ランプ表示	シートキーLED 画面の ON/OFF を行ないます。
⑦	SRAM クリア	SRAM を初期化します。※別途再起動が必要です。
⑧	再起動	シミュレータを再起動します。
⑨	終了	シミュレータを終了します。

## 4.1.2 シミュレータの起動

1. メニューバーから [動作シミュレーション] - [シミュレーションの開始] の順に選択します。

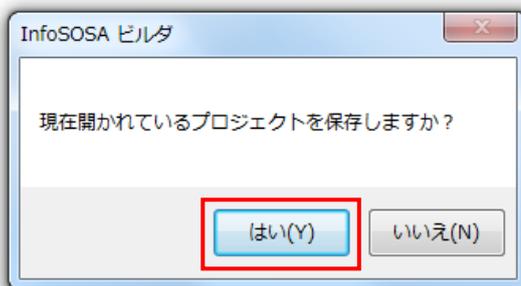


キーボードの「F5 キー」でも行うことができます。

2. プロジェクトが保存されていない場合は下図のダイアログが表示されます。

[はい] ボタンをクリックしてプロジェクトを保存します。

確認ダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



3. シミュレータが起動します。

## 4.2 シミュレータの操作方法

シミュレータでは画面の表示、タッチパネル操作、シートキー-SW、シートキー-LED の確認を行うことができます。

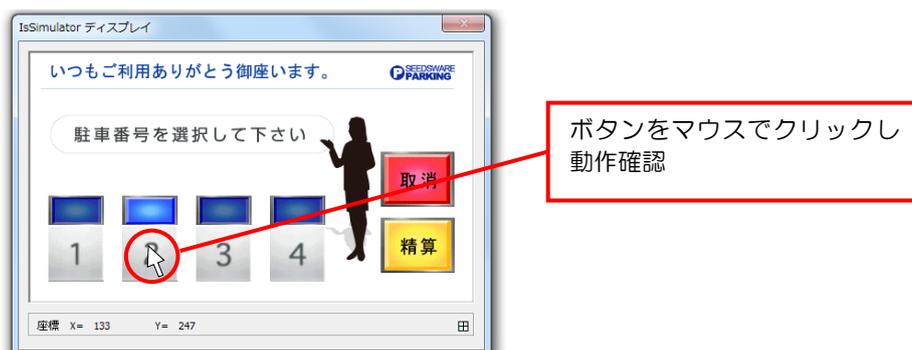
### 4.2.1 表示

シミュレータを起動すると「IsSimulator ディスプレイ」に作成した画面が表示されます。操作を行うと設定した通りに画面が変化します。ランプの点灯や画面遷移、文字表示、数字表示などの確認ができます。



### 4.2.2 タッチパネル操作

画面上をマウスでクリックするとタッチパネル操作を行うことができます。配置したボタンなどをクリックすると設定したアクションが実行されます。ボタン、テンキーなどの確認ができます。

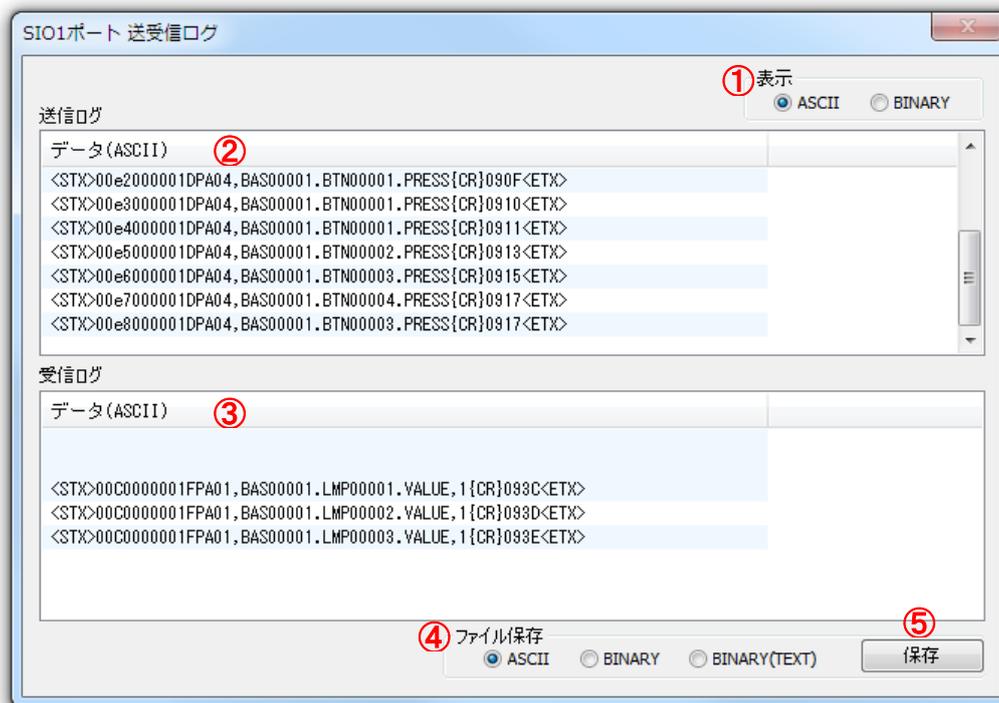


### 4.2.3 ログ表示

各ポートのログ表示ボタンをクリックすると「送受信ログ」が表示されます。  
PC とマイコンを接続することで通信電文を確認することができます。



※使用するには「シミュレーションの設定」で各ポートを有効にする必要があります。



No	項目	内容
①	表示	送受信ログの表示方法を設定します。
②	送信ログ	シミュレータからの送信電文を表示します。
③	受信ログ	上位からの受信電文を表示します。
④	ファイル保存	保存形式を設定します。 ※BINARY にチェックと入れて保存した場合 .bin で保存されます。
⑤	保存	ファイル保存で設定された形式で保存します。

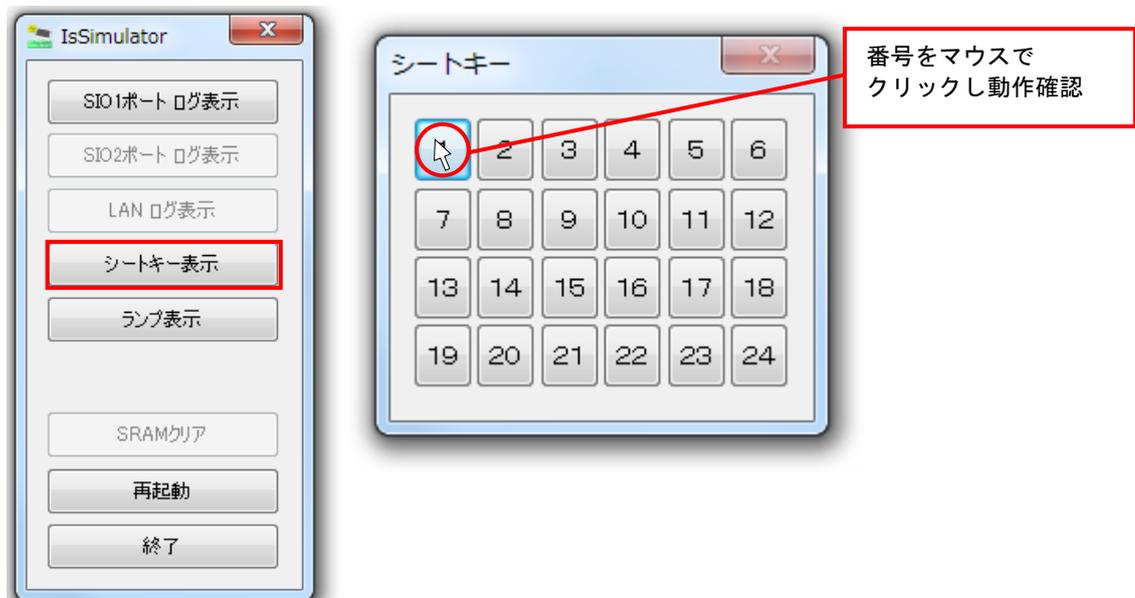
#### 4.2.4 シートキーSW

〔シートキー表示〕 ボタンをクリックすると「シートキー画面」が表示されます。

シートキーSW の動作確認ができます。

シートキーの番号をマウスでクリックすると設定したアクションが実行されます。

〔シートキー表示〕 ボタンをもう一度クリックすると「シートキー画面」が閉じます。



※シートキーSWは、デフォルトでは無効となっています。

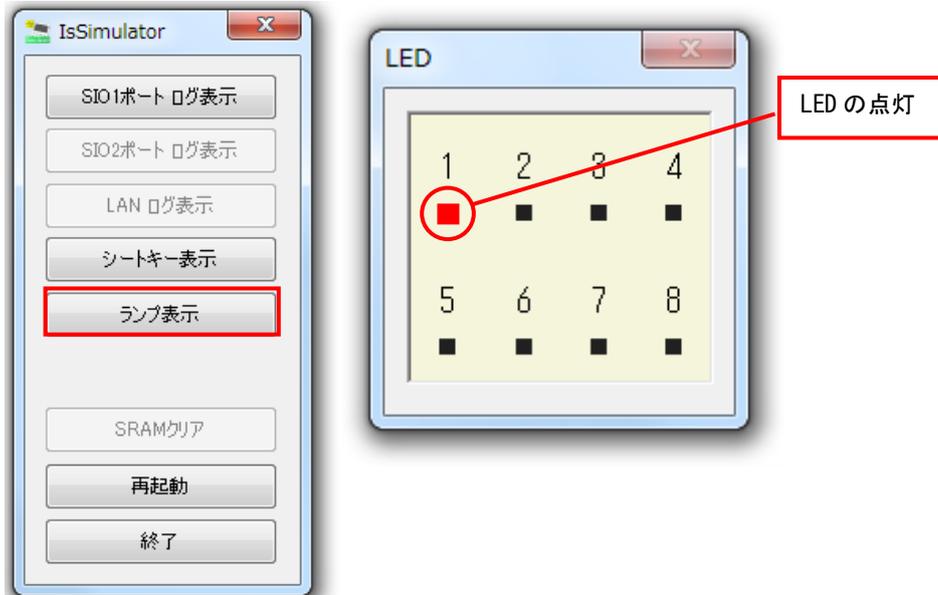
使用するには「シミュレーションの設定」で有効にする必要があります。

## 4.2.5 シートキーLED

[ランプ表示] ボタンをクリックすると「LED画面」が表示されます。

シートキーLEDの動作確認ができます。設定に合わせてLEDが点灯、消灯します。

[ランプ表示] ボタンをもう一度クリックすると「LED画面」が閉じます。



※シートキーSWは、デフォルトでは無効となっています。

使用するには「シミュレーションの設定」で有効にする必要があります。

## 4.2.6 SRAM クリア

[SRAM クリア] ボタンをクリック後、「再起動」を行うと SRAM がクリアされ、グローバルメモリは初期値で読み込まれます。



## 4.2.7 再起動

[再起動] ボタンをクリックすると、「IsSimulator ディスプレイ画面」が再起動します。動作確認を初期状態からやり直したい時などに使用します。



## 4.2.8 シミュレータの終了

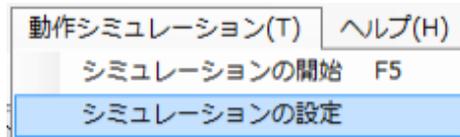
[終了] ボタンをクリックすると、シミュレータが終了します。



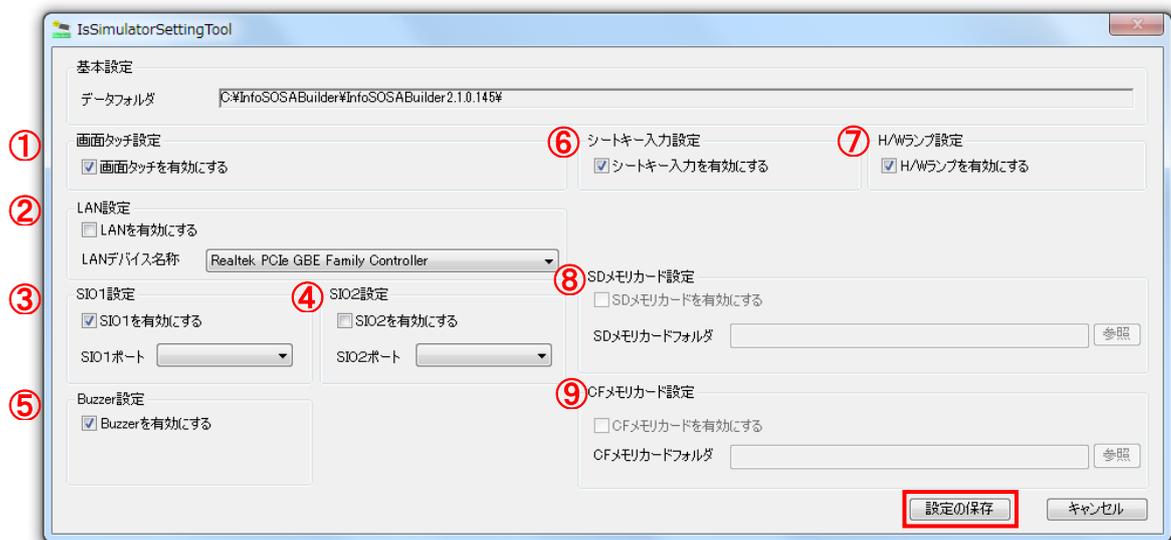
## 4.3 シミュレータの設定

### 4.3.1 設定方法

1. メニューバーから [動作シミュレーション] - [シミュレーションの設定] の順に選択します。



2. 下記の設定ダイアログが表示します。  
必要項目にチェックし [設定の保存] ボタンをクリックします。



No	項目	内容
①	画面タッチ設定	チェックを入れるとシミュレータでタッチパネル（マウスで操作）確認が行えるようになります。
②	LAN 設定	チェックを入れるとPCのLANで上位通信が行えるようになります。使用するLAN デバイスの選択ができます。上位機器と PC 間で通信のシミュレーションを行う用途にお使いいただけます。
③	SIO1 設定	チェックを入れると PC のシリアルポートで SIO1 の上位通信が行えるようになります。使用する COM ポートを選択してください。上位機器と PC 間で通信のシミュレーションを行う用途にお使いいただけます。
④	SIO2 設定	チェックを入れると PC のシリアルポートで SIO2 の上位通信が行えるようになります。使用する COM ポートを選択してください。上位機器と PC 間で通信のシミュレーションを行う用途にお使いいただけます。
⑤	Buzzer 設定	チェックを入れると、InfoSOSA のブザー音が PC のスピーカーから鳴るようになります。
⑥	シートキー入力設定	チェックを入れると [シートキー表示] ボタンが有効になります。
⑦	H/W ランプ設定	チェックを入れると [ランプ表示] ボタンが有効になります。
⑧	SD メモリカード設定	SD メモリカードのアクションをシミュレーションする場合、チェックを入れて下さい。指定のフォルダを SD メモリカードとみなしてファイル書き込みが行われるようになります ※SD メモリカードに対するシミュレーションを行う場合は、必ず設定して下さい。

No	項目	内容
⑨	CF メモリカード設定	使用できません

# お問い合わせ

---

本書に関するお問い合わせは、下記へお願い致します。

お電話でのお問い合わせ

 **0725-51-1110**

メールでのお問い合わせ

 **info@seedsware.co.jp**

よくあるご質問と回答集

 [www.seedsware.co.jp/support/faq/](http://www.seedsware.co.jp/support/faq/)

---

2014年8月 初版  
発行所 株式会社シーズウェア  
〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3-7-16  
TEL : 0725-51-1110 (代) FAX : 0725-51-1103  
URL : <http://www.seedsware.co.jp/>